

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	若葉保育園
日時	令和8年2月4日

## 1. 活動テーマ

<テーマ>

0歳児…葉っぱにふれてみよう

<テーマ設定理由>

- ・前回、葉を入れた氷を作った様子を見る。

## 2. 活動スケジュール

- ・1グループ2人、2グループ2人
- ・テーブルと椅子を用意して落ち着いて座る。

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

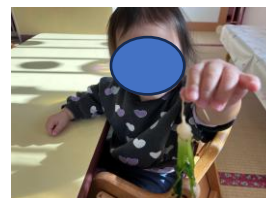


## 4. 探究活動の実践

<活動内容>

- ・トレーでできた氷と容器に入った氷を見る。
- ・タオルなどを用意して、濡れた時に拭けるように準備する。
- ・別の容器を手に届く所に置き、葉、氷を置けるようにする。手に届きやすい所に並べて置く。
- ・子どもの様子を見守り、ゆったりして雰囲気の中で関わっていく。
- ・子どもの動きに合わせて、葉を持って動かしたり、上から落としてみる。
- ・子どもの感じたこと、できたことを認めて言葉や動作で伝え共感する。

## <活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関り>



- ・手を引っ込めて触ろうとせず、中の様子を見る。
- ・容器を持ち傾け、視線は容器の中を見て、中から何が出てくるのか見ている。
- ・傾けてトレーの中に視線を向けるが、「どうして?」といっているような表情で中から出てこないとみる。
- ・容器を頬につけて冷たさを感じる。
- ・中身が出てくると両手で持ち上げ氷の中の葉に興味を持ち葉に触れて見る。
- ・容器から出ている茎を葉と気が付きつまんで引っ張るが、動かずくり返して引っ張る。
- ・葉の両側から引っ張ってちぎり、ちぎった葉を確かめている。
- ・一度触ると、葉が「濡れている」という感触を経験し、指を合わせて水分を感じている。
- ・日向に氷の容器を置き「溶けるかな」と保育士がいうと「うん」と応え容器をしばらく見ている。
- ・氷では、触らなかったが、溶けたら、トレーの中に容器を傾けると水が出てきた。
- ・水の中に入っている葉に手を伸ばして、葉も持ちあげてみせる。

・前回「かぶの観察」し、水を入れて氷作りの続きをした。今回の活動では、子どもたちが「触れる前を見る」「安全かどうか確かめる」といった探索の姿を重ねていく様子が見られました。氷にすぐに手を伸ばすのではなく、茎や葉といった別の素材から関わろうとする姿は、0歳児なりに周囲の環境をよく見て、自分の感覚で考えながら行動している姿だと感じました。また、氷が水に変わる場面では、見た目と触感の違いから変化に気づき、安心して手を伸ばす姿が見られました。言葉での理解が難しい中でも、氷、葉、水といった素材に五感を通して関わることで、子どもたちは物の変化や感触の違いに気づき、自分のペースで関わる心地よさを知っていったように感じます。保育士がそばで見守り、必要以上の言葉かけを控えたことで、子ども自身の気づきや行動がより豊かに引き出された活動となりました。今後も一人ひとりの小さな気づきや行動を丁寧に受け止めながら、葉に触れる経験を繰り返し、好奇心や探究心をさらに広げていきたいと思えます。

い

o